

かぬまの環境

第3次鹿沼市環境基本計画
鹿沼市地球温暖化対策地域推進計画
平成24年度実績報告書

鹿沼市

鹿沼市民憲章

美しい山や川にかこまれたさつきの花咲く鹿沼市は、
恵まれた風土と伝統のもとに栄えてきた産業のまちです。
わたくしたちは、このふるさとに誇りをもち、希望あふ
れるまちづくりをめざして、この憲章を定めます。

- 1 仕事に励み、健康で明るい家庭をつくります。
- 1 きまりを守り、思いやりのある住みよい社会をつくります。
- 1 自然を愛し、文化のかおる豊かなまちをつくります。

昭和 55 年 8 月 1 日制定

市花：さつき（昭和 47 年 4 月 1 日制定）

市木：杉（昭和 55 年 8 月 1 日制定）

目次

はじめに	1
第1章 鹿沼市の概況	1
1 地勢	
2 気象	
3 人口	
第2章 環境行政の概況	3
1 鹿沼市環境基本条例	
2 鹿沼市環境基本計画	
3 第3次鹿沼市環境基本計画の概要	
第3章 環境施策の実施状況	6
1 環境問題の意識を高める	7
2 自然との共生を目指す	11
3 美しい水と緑の自然を継承する	15
4 環境への負荷を減らす	19
5 循環型社会への転換を目指す	23
重点施策にかかる数値目標一覧	25
第4章 地球温暖化対策地域推進計画の実績	27
第5章 地域別環境配慮行動計画の実績	32
資料集	
1 大気環境の状況	38
2 水環境の状況	39
3 騒音・振動の状況	45
4 ダイオキシン類の状況	46
5 ごみの総排出量とリサイクル率の推移	47
6 動植物の生息状況	48
環境都市宣言文	

はじめに

本書は、鹿沼市における環境の保全等に関する施策の実施状況を明らかにするために、第3次環境基本計画に定めた計画の進捗状況をまとめたものです。市民の皆様の環境に対する関心をさらに高め、市民協働による環境保全の取り組みが推進されるための一助となれば幸いです。

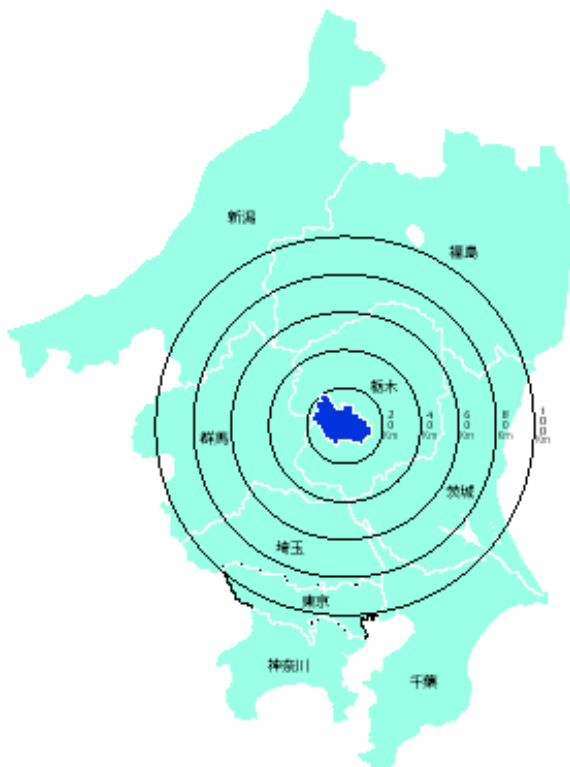
第1章 鹿沼市の概況

1 地勢

本市は、首都東京から100km圏にあり、北は国際観光都市・日光市、東は県都・宇都宮市に隣接しています。道路では、東北縦貫自動車道鹿沼インターチェンジを有し、鉄路では、東武日光線とJR日光線が通っています。

市域の約7割は森林で覆われており、西北部の山々を源として、大芦川、荒井川、粟野川、思川、永野川が、日光市からは黒川が南流し、山と高原や清流と溪谷のある美しい景観を成しています。

市街地は、黒川の河岸低地と東部高台及び思川と粟野川が合流する平地に形成されています。



鹿沼市位置図

位置・面積

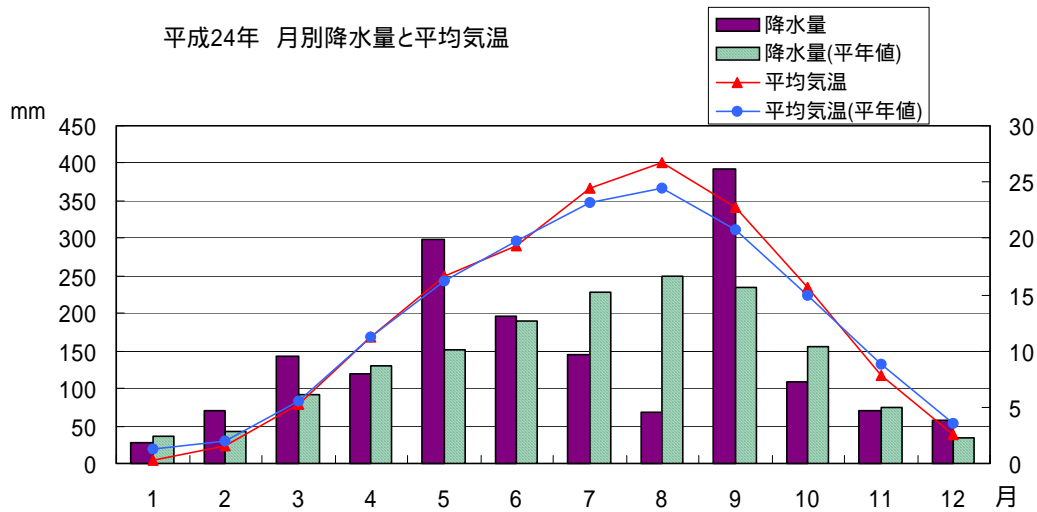
東 経：	139 度 28 分 02 秒
	139 度 50 分 08 秒
北 緯：	36 度 27 分 29 秒
	36 度 42 分 43 秒
海 抜：	148.8m (市役所)
面 積：	490.62 k m

2 気象

本市の気候は、内陸のため寒暖の差がやや大きく、冬季の平地部の低温と夏季の雷の発生が特徴的です。

気象（平成24年中）

降水量：1,694.0mm（日最大：177.5mm）
 気温：12.9（最高35.6 最低-8.2）
 風速：1.6m/s（瞬間最大22.2m/s）
 日照時間：2,027.3h



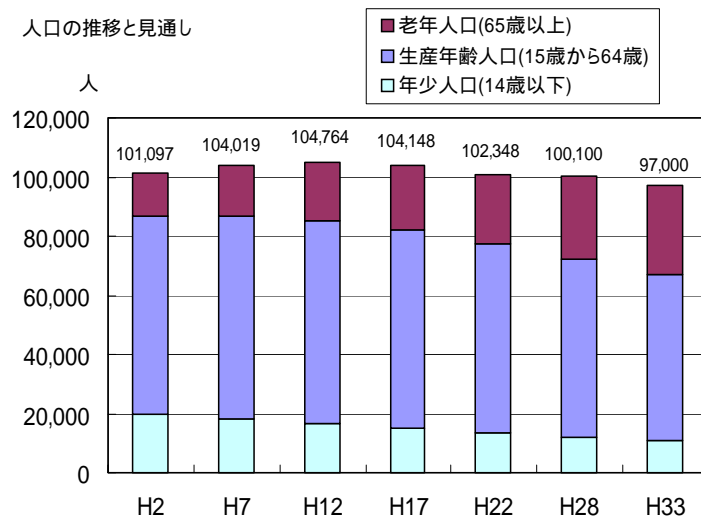
3 人口

本市の人口は、平成13年3月をピークに減少傾向が続いています。年齢構成では、年少人口の減少が著しく、一方で高齢人口の割合が高まり、この傾向が続くことが予想されます。

人口と世帯数（平成25年4月1日現在）

人口：100,652人
 世帯数：35,460世帯

人口の推移と見通し



第2章 環境行政の概況

1 鹿沼市環境基本条例

本市では、環境の保全等に関する施策を総合的かつ計画的に推進し、現在及び将来の市民の健康で安全かつ文化的な生活の確保に寄与することを目的として、平成12年12月に鹿沼市環境基本条例を制定しました。

本条例では、環境の保全についての基本理念や、市、市民、事業者のそれぞれの責務を明らかにするとともに、施策の基本方針を定めています。また、この条例のなかで、市が環境基本計画を定め公表することや、環境の状況及び環境の保全等に関する施策の実施状況について年次報告書を作成し公表することを規定しています。

2 鹿沼市環境基本計画

環境基本計画は、環境基本条例第9条に基づき、環境の保全に関する施策を総合的かつ計画的に推進していくために策定しています。本市最初の環境基本計画は、平成12年3月に策定しましたが、平成18年1月に栗野町との合併があり、第5次鹿沼市総合計画のスタートにあわせ、平成19年度からは第2次環境基本計画を推進してきました。現在は、平成24年度から平成28年度を計画期間とした第3次鹿沼市環境基本計画をもとに、施策を進行しています。

H 12 . 3	鹿沼市環境基本計画 策定
H 12 . 12	鹿沼市環境基本条例 制定
H 16 . 1	環境都市宣言 告示
H 19 . 4	第2次鹿沼市環境基本計画 策定
H 24 . 3	第3次鹿沼市環境基本計画 策定

3 第3次鹿沼市環境基本計画の概要

(1) 計画の目標年次

平成 33(2021)年度を長期的に展望し、平成 28(2016)年度を目標年次としています。

(2) 基本理念

環境基本条例に定めた4つの基本理念の実現を目指しています。

1. 次世代への継承

市民の環境問題に対する意識の高揚を図り、健康で安全かつ文化的な生活を営むことのできる恵み豊かな環境を確保しながら、これを将来の世代に継承します。

2. 自然との共生

恵み豊かな自然環境と潤いや安らぎのある社会環境を確保し、これらと市民が共生できる生活環境を形成します。

3. 持続的な発展

環境への負荷の少ない持続的な発展が可能な循環型社会を構築します。

4. 地球環境の保全

地球環境の保全を自らの課題として認識し、市民生活や経済活動等のあらゆる活動において環境負荷の低減を積極的に推進します。

(3) 基本的な方針

次の5つの基本的な方針にそって、環境施策を進めていきます。

1. 環境問題の意識を高めること
2. 自然との共生を目指すこと
3. 美しい水と緑の自然を継承すること
4. 環境への負荷を減らすこと
5. 循環型社会への転換を目指すこと

(4) 環境に関する市民の意識(アンケート結果)

平成 22 年度に市民 2,000 人(回答者数 817 人)にアンケートを実施し、市民の環境問題に関する意識や要望などを確認しました。

気になる環境問題については、

「不法投棄・ポイ捨て」(58.0%)「地球環境」(55.1%)が 50 パーセントを超えており、続いて「ごみ問題」(45.5%)「野生動物による農作物への被害」(39.7%)「川の水の汚れ」(37.3%)「空気の汚れ」(34.1%)の順に高い値を示しました。身近な環境問題に限らず、地球温暖化などの地球環境にも関心が高いことがうかがえました。

鹿沼市の環境についての満足度では、

「緑の豊かさ」(61.8%)、「水の豊かさ」(49.0%)、「空気のきれいさ」(48.8%)の項目で「たいへん満足」、「おおむね満足」とした回答が多い結果となり、自然環境に関する満足度が高い傾向がみられました。一方、「環境に関する学習の機会や情報の提供」(10.3%)で満足度が低い結果となりました。

鹿沼市に今後優先して取り組んでほしい項目では、

「自然環境・生態系の保全」(34.0%)、「適切な土地利用の確保(農地や山林など)」(27.8%)、「上下水道の整備」(25.9%)、「ごみの減量やりサイクルの推進」(25.5%)などが高く、自然環境や生活環境への取り組みについて望んでいることがうかがえました。「クリーンエネルギーの推進」(17.4%)についても比較的高い結果となりました。

これら市民の意見を参考に、積極的に課題に取り組み、鹿沼市全体の環境についての満足度が向上するよう環境施策を進めます。

平成 24 年度きれいなまちづくり標語 最優秀賞作品

小学校の部

「減らそうごみと CO₂ 町にも人にも やさしいよ！」

中学校の部

「水と緑の大自然 地域ではぐくみ 未来まで」

第3章 環境施策の実施状況

この章は、第3次鹿沼市環境基本計画に基づいた環境施策の、平成24年度の実施状況をまとめたものです。環境基本計画では、5つの基本方針(大項目)の下に中項目・小項目を体系化し、小項目ごとに施策を展開し、総合的かつ体系的に基本方針の達成を目指しています。

大項目	中項目	小項目	
1 環境問題の意識を高める	(1)きれいなまちづくりの推進	きれいなまちづくり運動	
		(2)環境教育の推進	環境教育指導者の養成
			学校・幼稚園等における環境教育の充実
	社会教育における環境教育の充実		
	事業所における環境教育の推進		
	(3)環境と健康の推進	環境と健康の推進	
	2 自然との共生を目指す	(1)自然環境の保全	適正な土地利用
			生物多様性の保全
		(2)自然環境との調和	環境に配慮した生活空間づくり
景観の保全と創出			
自然環境と調和した産業振興			
野生動植物との共生			
3 美しい水と緑の自然を継承する	(1)水環境の保全	水資源の確保	
		水質の保全	
		生活排水対策	
	(2)緑環境の保全	緑地の保全と創出	
		緑化の推進	
4 環境への負荷を減らす	(1)生活環境の保全	環境管理システムづくり	
		大気への保全	
		土壌への保全	
		騒音・振動への対応	
		悪臭への対応	
		水質汚濁の防止	
		不法投棄の防止	
		放射能汚染対策	
	(2)地球温暖化対策	温室効果ガス排出量の抑制	
		省エネルギーの推進	
		クリーンエネルギーの導入の促進	
5 循環型社会への転換を目指す	(1)3Rの推進	ごみの排出抑制	
		資源の再利用・リサイクルの推進	
		ごみの適正処理	

1 環境問題の意識を高める

市民や事業者に対して環境保全活動や環境学習、環境情報の提供を積極的に推進して、環境問題の意識を高めながら、きれいなまちづくりを推進します。

(1)きれいなまちづくりの推進

きれいなまちづくり運動

きれいなまちづくり推進員の活動促進

協議会の支部会議及び全体会議において、活動内容や役割などの説明を行いました。また、支部長会議で協議し、推進員一斉清掃やエコライフ・フェアへの協力等の活動を実施しました。

地域特性を生かしたきれいなまちづくりの実践

きれいなまちづくり推進員を中心として、各自治会や地域の美化団体等が連携し、地域での環境活動を推進しました。また、地域別環境配慮行動計画に基づき、各地区で不法投棄防止活動や河川の清掃活動などを実施しました。

環境美化活動の展開と連携

5月20日と9月16日の「環境美化の日」に、地域清掃活動等を実施しました。

環境美化推進モデル地区(10地区)、きれいねっと鹿沼登録団体(28団体)、フラワーロード実施団体(10団体)などへの支援を行い、環境美化の推進を図りました。また、きれいなまちづくり推進員を中心に、自治会等の各地域の団体と連携し、清掃活動や花いっぱい運動等の環境美化活動を実施しました。

市内の小学校4年生から中学校3年生までを対象にし、環境に関する標語を募集し、優秀作品の表彰を行いました。小学校の部 1,962点、中学校の部 2,472点の応募があり、その中から、小学校の部では、最優秀賞1点、優秀賞 26点、中学校の部では、最優秀賞1点、優秀賞 10点を選出しました。

犬、猫などのペットのマナーについて、広報紙及びホームページによる啓発や、チラシや看板による啓発を行いました。

「環境クリーンセンター市民利用の日」(毎月第1・3日曜日)に家庭ごみの搬入受入れを行いました。また、大量のごみの排出が見込まれる年末にも、家庭ごみの受け入れを実施しました。

空き家等が管理不全な状態になることを未然に防止するため、「鹿沼市空き家等の適正管理に関する条例」を制定しました。

(2)環境教育の推進

環境教育指導者の養成

人材・教材の充実と環境学習の体制づくり

生涯学習大学では、市民の環境意識を高めることを目指し、「自然・環境コース」を設置しています。

子どもたちの環境学習の資料として、環境に関する様々な情報や身近な環境問題等について記載した環境学習副読本「わたしたちのくらしと環境」を作成し、市内の小学4年生に配布しました。

環境学習リーダーの育成

かめま生涯学習大学の講座をとおして、環境学習指導者養成コース(基礎課程(受講者5名)・指導技術課程(受講者2名))を開催しました。環境学習リーダーの登録は、34名となりました。

学校・幼稚園等における環境教育の充実

こども達への環境学習・教育の推進

小学校などで、こども環境学習出前講座を開催し、85名が地球環境問題などについて学びました。

環境学習推進校として7校を指定しました。指定校においては、省資源省エネルギーに努め、環境に視点をあてた学習や環境教育の実践が行われました。

鹿沼市内の児童生徒1,812人が、自然体験交流センターにおいて自然生活体験学習を実施しました。また、わくわくネイチャー事業を6回開催しました。

社会科副読本による郷土理解学習を実施し、ふるさとについての理解を深めました。

市内小中学校の緑の少年団が行う草花の栽培や花壇の手入れなどの活動へ補助金を交付しました。

緑化及び森林愛護作文・ポスターコンクールには、290点の応募がありました。入賞作品のポスター・作品集を作成・配布したほか、入賞作品の展示会を実施しました。

社会教育における環境教育の充実

市民の意識を高める環境学習の推進

8月26日に、ふれあいみどりの村「田んぼの生き物観察会」を開催しました。

11月11日に環境クリーンセンターで開催した環境関連のイベント「エコライフフェア」では、企業や各種団体、行政など35団体が参加し、4,500人が来場しました。

2月2日に粟野コミュニティセンターで環境講演会を開催しました。西鹿沼町自

治会環境部長 川上良夫氏による環境活動事例発表『自然環境(豊かな自然)を未来につなぐ活動』、日本環境学会会長 和田武氏による講演『再生可能エネルギー中心の社会へ』に 170 人が来場しました。

昆虫標本 10,000 点余(1,200 種)の整理・分類を行い、自然・環境保全の大切さを理解してもらおう「鹿沼のいきものたち～絶滅危惧種から自然環境を考える～」と題した展示を、自然観察会と共催で行いました。



エコライフ・フェア in かぬま 2012
では、きれいなまちづくり標語等の
表彰式も行いました

2月2日に
粟野コミュニティセンターで実施した
環境講演会の様子



川上良夫氏による環境活動事例発表



和田武氏による講演

環境情報システムの確立

環境施策の進捗状況や各種データなどをまとめた「かぬまの環境」を作成し、小中学校や図書館に配布した他、ホームページに掲載しました。

事業所における環境教育の推進

企業の環境行動の推進

事業者の環境配慮を推進するため、中小企業者が ISO 等認証取得をするための支援を行いました。平成 24 年度は、市の支援で 4 社 (ISO 1 社、エコアクション 21 3 社) が認証取得し、累計での支援実績は、ISO 44 社、エコアクション 21 4 社となりました。

(3) 環境と健康の推進

環境と健康の推進

有害物質対策の推進

市有施設で使用されていた PCB 含有製品の種類及び数の調査と適切な保管をしています。

環境中のダイオキシン類の調査並びに廃棄物処理施設からのダイオキシン類測定(環境クリーンセンターを含む)を実施しました。

食育の推進

食育推進計画に基づき、市内 17 地区においてそれぞれの地区の会員が、子どもを対象とした料理教室や男性向けの料理教室などの食生活改善事業を実施しました。また、学校においては、特別非常勤講師(栄養教諭等)による食の指導を実施しました。

地産地消教育の充実のため、市内全小中学校の学校給食で「いちご」を提供し、定期的に鹿沼の特産物を使った“さつきランチ”を実施しました。また、小学校 5 校、中学校 1 校で地元生産者との交流事業を実施しました。

かめまブランド認定においては、いちご・にら・トマト・なし・かめま和牛・さつきの舞(米)の 6 品目に加えて、新規に鹿沼そば・里山まいたけの 2 品目を認定しました。

愛護動物の管理

動物の愛護思想の普及のため、ペットのマナー啓発とあわせて広報紙及びホームページで啓発を行いました。



7月22日から8月10日まで文化活動交流館で開催された「鹿沼のいきものたち～絶滅危惧種から自然環境を考える～」の様子

2 自然との共生を目指す

鹿沼市の美しい自然は、市民ばかりでなく、すべての人々にとって大切なものです。自然との共生を基本としながら、身近な自然とのふれあいの場を創出するなどその保全と活用、自然との調和を目指した産業の展開を図ります。

(1) 自然環境の保全

適正な土地利用

土地利用の総合調整

「鹿沼市土地利用管理方針」に基づき、一定規模以上の土地を利用する場合に関係法令等による手続の前に事前調整、事前協議により総合調整を行いました。また、事前相談(5件)において適正な指導を行いました。

大規模開発に対しては適正な指導を行い、事前相談、事前協議を経た開発が2件ありました。

また、企業誘致基本方針に基づき、工場適地への適正誘致を1件行いました。

地籍調査推進体制の構築

地籍調査については、平成26年度に計画策定に着手することを決定しました。

生物多様性の保全

動植物の適正把握

市内自然・地理資料について、天然記念物の指定1件(与州のモミ)を行ったほか、カモシカの滅失届1件がありました。

生態系、生息地若しくは種を脅かす特定外来生物への対策として、各地区のコミュニティセンターにアライグマ(ハクビシン兼用)用の箱罠を配布しました。



平成24年4月26日に指定された
推定樹齢 350～400年の「与州のモミ」

動植物の生息・生育環境保全と創出

横根高原の生物多様性の保全・再生と活性化のため、環境省公募事業(生物多様性保全推進支援事業)の事業主体となる横根高原保全・活用協議会を設置しました。

生息環境に配慮した農業基盤整備事業を推進するため、県営深津地区圃場整備事業地内において、動植物の生息環境に配慮した湿地、及び水路の整備を行っています。



森林愛護ポスターコンクール 小学校の部 最優秀賞作品

(2) 自然環境との調和

環境に配慮した生活空間づくり

魅力ある都市づくり

鹿沼市の都市計画に関する基本的な方針として策定した「都市計画マスタープラン」に基づき、都市計画の観点から見た総合的なまちづくりの施策を推進しています。

JR鹿沼駅西地区においては、1.1haの換地処分を行うなど市街地の整備を行いました。

雨水対策事業として、公共下水道雨水計画に基づいた雨水管布設工事を施工しました。

鹿沼市の住宅施策の基本的な方針として策定した「住宅マスタープラン」に基づき、かめまの「住まいづくり」を推進しています。

安全な建物環境づくりのために、耐震診断に対する経費助成事業及び耐震診断職員が無料で行う『簡易耐震診断』を実施しました。また、個別訪問による耐震診断と耐震改修の普及啓発を行いました。

新鹿沼駅西区画整理地内の富士南公園の整備を完了し、さらに同地内の段の浦公園の整備に着手するなど、公園や広場の整備を進めました。

美しい農山村づくり

中山間地域対策のため、鹿沼市中山間地域グラウンドワーク活動等支援事業を1団体実施し、農山村地域における地域活性化のための組織作りの推進及び継続的な活動体制の整備を行いました。

定住環境として19区画を整備した菜園付き住宅地は、全ての分譲を終えました。

山村振興計画に基づき、道路整備、林道整備、栗野第一小整備などの事業を推進しました。

景観の保全と創出

街道景観の形成

車両誘導サインや地図型サインなど、景観に配慮した観光施設案内看板19箇所を整備しました。

都市景観の形成

中心市街地の幹線道路に設置されている街路灯を利用し、市民や来訪者がきれいな花を楽しめるフラワーロード(5路線1,770m、106基)や個人の庭や店先のガーデニングスペースを開放するオープンガーデン(19箇所)を推進しています。

農山村景観の形成

土地改良事業においては、景観に配慮した圃場整備事業を4地区で行いました。

農地・水・環境保全活動として、8組織が共同活動支援事業に取り組み、農地・水路等の農村環境保全管理活動を行いました。

また、地域の特性を生かした多様な地域間交流の促進のため、市内9地区において、生き物観察会を実施しました。

文化財指定史跡・天然記念物の保存

地域の歴史や文化の保存・保護のため、天然記念物を1件指定したほか、加蘇山神社のスギ樹勢回復及び判官塚古墳の草刈りを行いました。

自然環境と調和した産業振興

環境保全関連産業等の育成

環境保全型農業、地域還元型農業を推進し、農業用廃ビニールを262t回収し、うち254tをリサイクルしました。

国・県の補助事業を活用促進し、立木等の獣害対策を実施しました。

野生動植物との共生

種の多様性の保全と野生鳥獣による被害防止対策の充実

共同活動支援事業において、8組織が草刈りや景観形成活動を行い、動植物と共生する環境を整備しました。

耕作放棄地のうち4.4haを解消しました。

また、とちぎの元気な森づくり県民税事業を活用し、各地区の自治会等で里山の整備(22ha)、管理(105.72ha)を実施しました。

有害鳥獣被害の防止策として、野生鳥獣対策協議会によるワイヤーメッシュ柵12.5kmの設置、農産物生産等総合推進事業として電気柵等設置の補助25件を実施しました。

10月8日に実施した
きれいなまちづくり推進員による
一斉清掃の様子



3 美しい水と緑の自然を継承する

森林や河川は、私たちに潤いや安らぎの場、生活の場を提供しています。鹿沼市の特性であり私たちの生活に密着したこの美しい水と緑の自然を、継承します。

(1) 水環境の保全

水資源の確保

水資源の確保

安定した水源の確保のため、地下水揚水量調査5箇所を実施しました。

農業用水の安定確保のため、12 団体へ農業用水路の補修材料を支給しました。

水資源の利用

上水事業の給水区域内において、配水管の新設工事延長 9,989.8mを実施しました。

簡易水道事業の給水区域内において、配水管の新設工事延長 751.4mを実施しました。

節水の推進を図るため、漏水修繕 1,128 件及び漏水調査 252 kmを実施しました。

雨水の有効利用

雨水の有効利用のために市民が設置する雨水浸透柵、雨水貯留槽に対する補助を実施しました。浸透柵:3 箇所(計 9 基)、貯留槽:【市販専用製品】7 箇所【自主製作品】3 箇所

水質の保全

水道水の水質保全

水道水の水質管理のため、クリプトスポリジウム及び指標菌の検査を実施しました。また、浄水場設備の整備のため、水質管理目標設定項目等の検査を実施しました。

地下水の水質保全

36 箇所、15 項目について定期的な地下水検査を実施し、市内地下水の状況把握を行いました。

地下水汚染地域については調査を実施し、継続的な監視を行いました。

一般廃棄物最終処分場周辺地下水の定期的な地下水検査(毎月 1 回)を実施し、施設周辺地下水の状況把握を行いました。

公共用水域(河川)の水質保全

黒川など 12 河川の公共用水域について、理化学調査(BOD、COD等)及び水生生物調査を実施しました。

準用河川瀬戸川において、河川機能を維持するための改修工事を実施しました。

農地・水保全管理支払交付金を活用し、8 組織が各地域において、用排水路等の草刈りや堀浚い、簡易的な補修を実施しました。

愛りバーとちぎ実施団体による草刈りなどが行われたほか、河川愛護会による清掃活動などにより公共用水域の環境美化を図りました。

生活排水対策

下水道施設の整備

公共下水道污水計画に基づき污水管布設工事を施工しました。

菊沢西地区農業集落排水事業推進検討委員会において、接続率を上げるために、個別訪問等の活動を行いました。

浄化槽設置を促進するため、合併処理浄化槽設置基数:5人槽 54基、7人槽 82基、10人槽 3基、計 139基に対し補助を行いました。内、単独処理浄化槽から合併処理浄化槽への切替は 22基ありました。

水洗化普及のために 243 戸に対し戸別訪問を実施しました。

下水道施設の整備のため、黒川終末処理場管理棟の耐震補強工事及び管理棟内沈砂池設備、ポンプ設備、自家用発電設備の更新を実施しました。

11月11日に
環境クリーンセンターで実施した
エコライフ・フェア in かぬま 2012



(2) 緑環境の保全

緑地の保全と創出

森林の保全と創出

森林の再生と林業・木材産業の振興のため、平成 25 年度から平成 29 年度の 5 か年間に計画期間とする「鹿沼市森林・木材活用プラン」を策定しました。

水源涵養のため保安林の指定を 78.0336ha 拡大し、保安林面積は 13,414ha となりました。

作業道路を整備し、2 路線 1,076m を延長しました。

間伐の推進により、普通林 42 件 280.11ha の間伐を実施しました。

森林の保全

とちぎの元気な森づくり県民税事業を活用して、各地域においてボランティア計 220 人が参加し、里山の下草刈り、植林、樹木の手入れなどの事業を実施しました。

平地林の保全

野鳥の森の整備 3.9ha、管理 9.53ha を実施しました。

農地の保全と創出

農業振興地域整備計画書を作成しました。

耕作放棄地を解消した農地に、そば等を作付しました。

水辺緑地の保全と創出

準用河川瀬戸川において、多自然型工法による護岸を実施しました。

緑化の推進

緑の基本計画の推進

一部の公園等において、日常の管理や清掃を自治会等に協力いただき、住民を主体とした維持管理を実施しています。

公園の緑化

「緑の基本計画」に基づき、総合的な緑化推進を進めています。公園緑地の維持管理に関しては、専門業者との契約で樹木の薬剤散布及び除草を、自治会等の協力やシルバー人材センターとの契約で日常管理及び除草を実施しました。

公共施設の緑化

公共施設の緑化のため、財産管理課では 39 施設に 77 セットのグリーンカーテン資材を配布しました。また、各学校において「花いっぱい運動」を実施しました。

道路の緑化

市内を5つのブロックに分け、街路樹維持工事を実施しました。

宅地の緑化

家庭緑化用苗木配布会を3回開催しました。4月29日にまちの駅新鹿沼宿でイチゴノキ 300本を、11月19日にあわの秋まつりでジューンベリー250本を、2月2日の環境講演会でプリムラジュリアン 280株を配布しました。

工場、事業所の緑化

新規立地企業等に対し、工場立地法に準拠し適切な緑地配置及び面積確保の指導を行いました。



森林愛護ポスターコンクール 中学校の部 最優秀賞作品

4 環境への負荷を減らす

市民・事業者のそれぞれが主体的に環境に及ぼす影響を管理し、環境への配慮した行動をすることによって、環境への負荷の少ない持続可能な発展を目指します。また、地球温暖化対策への取り組みを進展させるとともに、省資源・省エネルギー対策と自然エネルギーの利活用を進めます。

(1) 生活環境の保全

環境管理システムづくり

環境管理システムづくり

事業者に対し、立地する周辺住民との環境保全協定の締結を推進し、183 社が協定を締結しました。

大気の保全

大気汚染防止対策

ばい煙対策については、県と連携し、関係事業所への立ち入り検査等を実施し、指導を行いました。

野焼き対策に関しては、ホームページ等による野焼き禁止の啓発や環境パトロールを実施し、状況に応じて現地指導等を実施しました。

光化学スモッグ対策では、県と連携し、状況の把握と注意報等の公共施設への連絡等を実施しました。

有害大気汚染物質対策として、県と連携し、PM_{2.5}(微小粒子状物質)の状況の把握とホームページ等による啓発活動を実施しました。

交通対策

公共交通機関であるリーバスを 13 路線運行しました。

公用車におけるクリーンエネルギー自動車(ハイブリットカー3 台)の導入を実施しました。

アスベスト対策

建築物解体現場のパトロール及び指導を行い、法令の周知及び遵守の徹底を図りました。また、建築物の解体、廃棄の際の法令周知と遵守及び市民に対する情報提供と啓発を行いました。

土壌の保全

土壌汚染防止対策

土採取事業規制条例制定に向け、業者との協議やパブリックコメント、検察庁協議等を実施しました。また、土砂等の埋立て箇所とあわせて現地の状況を把

握し、県と連携しながら災害等の発生の防止に努めました。

GAP(農業生産工程管理)の導入を図り、農薬の適正使用管理について指導しました。また、化学肥料や農薬の使用低減を実施する「エコファーマー」を推進しました。

県と連携し、土壌汚染対策法対象事業所の把握に努めました。

土壌に係るダイオキシン類等の測定を調査地点3箇所で行いました。

騒音・振動への対応

騒音・振動防止対策

道路騒音調査地点4か所、環境騒音調査地点4か所で、道路や生活環境における環境基準の達成状況を確認しました。

悪臭への対応

悪臭対策

公共施設の悪臭対策では、環境クリーンセンターのごみ処理・し尿処理施設の継続的な臭気対策として、臭気が外に漏れないよう、ごみ投入扉を長時間開けずこまめな開閉を実施しました。黒川終末処理場においては、管理棟地下1階に脱臭装置を設置し、沈砂池設備からの臭気対策を実施しました。また、堆肥化センターの臭気対策のため、庁内で検討を行いました。

悪臭関連施設を有する特定事業所に対し定期的な指導を実施しました。

畜産関係の悪臭対策について、関係機関と連携しながら適切な管理の指導を実施しました。

水質汚濁の防止

水質汚濁・地下水汚染の防止

27の特定事業場等の排水調査を実施し、状況に応じて県と連携し、工場・事業所への指導を行いました。

異常水質が発生した5件について、県、消防等の関係機関と連携し異常水質の拡大防止に努めました。

黒川終末処理場放流水質、環境クリーンセンター放流水質、一般廃棄物最終処分場放流水質の検査を定期的に行いました。

不法投棄の防止

不法投棄防止対策

不法投棄者への指導等3件、空き地等の適正管理指導76件を実施しました。

4班8人体制による環境パトロール班及び、きれいなまちづくり推進員等による監視を実施しました。また、委託事業による休日夜間パトロール(年間39日)も実施しました。不法投棄箇所数は、前年の34箇所から10箇所に減りました。

自治会等地元住民の協力を得て、清掃活動「クリーン鹿沼」を26箇所実施し

ました。また、環境パトロール班を中心に 594 回のミニクリーン鹿沼(不法投棄撤去等清掃作業)を実施しました。



3月5日に
永野地区で実施した
クリーン鹿沼の様子

放置自転車対策

放置自転車 39 台を撤去しました。また、新鹿沼駅西口周辺を自転車放置禁止区域に指定するとともに、自由通路下部に自転車駐車を整備しました。

放射能汚染対策

放射能のモニタリング

販売用や自家消費用の農林産物、工業製品等の放射性物質の測定について、市民の利便性向上を図りながら実施しました。

下水汚泥と燃やすごみ焼却灰の放射性物質濃度を定期的に測定しました。公共施設等の空間放射線量についても、市庁舎をはじめとした市所有の公共施設のほか、民間保育園、私立幼稚園等において定期的に測定しました。

市民の自宅等身近な生活環境の空間放射線量の測定について、空間放射線量測定器を市民に貸し出し、市民自らおこなう測定及び局所的除染を支援しました。

「広報かぬま」や市のホームページで「市内の空間放射線量」、「農林産物等の放射性物質モニタリング状況」、「公共施設の空間放射線量」、「公共施設の除染状況」等、市民に情報を提供しました。

放射能の除染等

「鹿沼市除染実施計画」を策定し、子どもの利用する生活空間をはじめとした市所有の公共施設等の除染を行いました。また、民間宅地等について、一部除染を行いました。

その他、風評被害を払拭するため、展示会の開催や、キャンペーンへの出展を行いました。

(2)地球温暖化対策

温室効果ガス排出量の抑制

地球温暖化対策地域推進計画の推進

環境部においては、太陽光発電設置補助、ごみの減量化等の温室効果ガス排出量削減の施策を行いました。

各部局においては、窓からの採光利用による事務室内の半分消灯や、コピー用紙の裏面利用や積極的な両面コピーの推進など、庁内もったいない運動の推進を図りました。

前年度の温室効果ガス排出量について、市のホームページによる公表や環境審議会にて報告を行いました。

省エネルギーの推進

省エネルギーの推進

広報かぬまや市のホームページを活用して、広く市民や事業者へ省エネルギーの普及啓発を行いました。また、エコライフモニターの中から特に優れた取組を実践した方を表彰しました。

市役所においても、昼休みの消灯や夏期のクールビズや冬期のウォームビズなどのほか、本庁舎や消防庁舎ではデマンドアラーム設置による冷暖房のエネルギー使用量削減も積極的に実施しました。

商店会等が維持管理する街路灯や新規防犯灯設置について、LED化を促進しました。

クリーンエネルギーの導入促進

クリーンエネルギーの利用

家庭での再生可能エネルギー設備の導入を促進するために設備設置費用の一部を補助しました。また、平成25年度実施に向け、大規模太陽光発電施設設置促進補助金制度設計を行いました。

ごみ焼却熱の利用

環境クリーンセンターにおいて、ごみ焼却の際に発生した熱を給湯・暖房に利用しました。

5 循環型社会への転換を目指す

資源の有限性を踏まえ、3R 原則により廃棄物の減量化、再資源化を推進するとともに、省資源化を促進し、循環型社会の構築に向けて取り組みを進めます。

(1) 3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進

ごみの排出抑制

ごみ減量の推進

ごみ減量のための教育・啓発のため、5種14分別の出前講座を年3回実施し、30名の外国人が参加しました。また、市内小学校3・4年生による施設見学会を実施しました。

事業系ごみの減量化のため、搬入時の監視や事前相談における指導により、多量排出事業者への監視・指導等を実施しました。また、事業系ごみのうち、その他プラスチック製容器包装やダンボール、ペットボトル等の受け入れにより資源ごみ分別を推進しました。

リサイクル推進協力店などで過剰包装の自粛を行うなど、簡易包装の推進に取り組みました。

生ごみ処理機及びコンポスト容器を活用することで、生ごみの減量化を図ることを目的として、処理機又は容器の設置者に対してその購入費の一部を補助しました。

資源の再利用・リサイクルの推進

リサイクルの推進

66件のリサイクル推進協力店で、資源物の店頭回収や社員研修など、リサイクル推進に向けた独自の取り組みを実施しました。

消費生活展では、来場者にリサイクルに関する取り組みを紹介しました。また、エコライフ・フェアや環境講演会等のイベントや広報かぬまによる啓発を実施しました。

建設資材・廃材のリサイクル

建設工事で発生した建設廃材を再生資源施設に搬入しました。

各種廃棄物のリサイクル

堆肥化センターにおいて、搬入された家畜排泄物 13,231t、汚泥 65t、生ごみ 38t、木屑関係 24t、副資材 644t を処理しました。

農業用廃ビニールについて、262t を回収し、254t をリサイクルしました。

資源の再利用の促進

市民のリサイクルの推進及び意識啓発のため、NPO 法人ふうめらんが行うフリーマーケットや親子エコ教室等の活動を支援しました。

粗大ごみとして環境クリーンセンターに搬入された自転車や家具を修繕し、イベントでの無償提供を実施しました。

ごみの適正処理

ごみステーションの適正配置

小規模ステーション 2 箇所以上を集約し整備する自治会に対し、補助金を交付しました。

きれいなまちづくり推進員及びごみステーション管理者と連携し、違反ごみの処分など管理を実施しました。

ごみの適正処理

広報かぬま、出前講座、鹿沼ケーブルテレビ等を利用し、5 種 14 分別や出し方等の広報周知を実施しました。

野焼き等の不適正処理に対しては、環境パトロール等による指導を実施しました。

事業者が廃棄物の適正処理を実施できるように、指導や搬入時の検査を実施しました。

ごみステーションにおける資源物の抜き取り防止のため、5 月と 9 月に 2 班体制で集中的にパトロールを実施しました。また、団体による資源ごみの集団回収を実施しました。

ステーション収集については、平成 25 年度からの完全民間委託の実施に向けた準備を進めました。

ごみ焼却施設の長寿命化のための基幹的設備改良工事に向けた環境アセス調査に着手するとともに、長寿命化計画を策定しました。

鹿沼市外一般廃棄物の市内処分等に関する事前協議要綱に基づき、適正に事前協議を実施しました。

高齢化の進展へのあり方の検討

平成 23 年度からモデル地区事業として実施してきた、ごみ出しが困難な高齢者に対する戸別収集事業を市内全域に拡大する準備を進めました。

重点施策にかかる数値目標一覧

番号	大項目	中項目	小項目	施策名	行動内容	項目	担当部	現状値 (H22)	H24 実績	H25 実績	H26 実績	H27 実績	目標値 (H28)	目標値 (H33)			
1	1 環境問題の意識を高める	(1) きれいなまちづくりの推進	きれいなまちづくり運動	環境美化活動の展開と連携	環境美化推進団体(きれいなって鹿沼登録団体等)への支援	環境美化推進地区数	環境部	85団体	17地区				17地区	17地区			
2		(2) 環境教育の推進	学校・幼稚園等における環境教育の充実	こども達への環境学習・教育の推進	こども環境学習出前講座の開催	こども環境学習出前講座(年間)	環境部	60人	85人					1,000人	1,000人		
3					環境学習推進校の実施	環境教育推進校指定	教育委員会事務局	9校/年	(累計)7校						(累計)37校		
4					自然生活体験学習事業の実施	自然生活体験学習参加児童・生徒数(年間)	教育委員会事務局	2,053人	1,812人						1,793人	1,715人	
5					わくわくネイチャー事業開催数	わくわくネイチャー事業開催数	教育委員会事務局	年6回	年6回						年6回	年6回	
6					社会科副読本により郷土理解学習の実施	郷土理解教育副読本活用	教育委員会事務局	100%	100%						100%	100%	
7					緑の少年団活動支援	緑の少年団(補助金交付支援団体)	経済部	43校(団体)	41校						37校	37校	
8					森林愛護作文・ポスターコンクール応募数	森林愛護作文・ポスターコンクール応募数	経済部	351点	290点						300点	300点	
9	2 自然との共生を目指す	(2) 自然環境との調和	環境に配慮した生活空間づくり	魅力ある都市づくり	市街地の整備	土地区画整理事業面積	都市建設部	249.6ha	250.7ha				280.3ha	309.2ha			
10					雨水対策事業の推進	雨水排水管路整備面積	環境部	511.9ha	523.4ha					760ha	870ha		
11	3 美しい水と緑の自然を継承する	(1) 水環境の保全	水資源の確保	水資源の利用	給水区域の拡張(上水事業の拡張)	上水道給水人口	水道部	78,055人	78,549人				86,035人	86,240人			
12					給水区域の拡張(簡易水道事業の拡張)	簡易水道等給水人口	水道部 経済部	9,568人	9,392人					13,310人	13,310人		
13			水質の保全	公共用水域(河川)の水質保全	公共用水域の定期的な検査の実施	理化学調査	環境部	12河川 21箇所 15項目	12河川 21箇所 15項目					12河川 21箇所 15項目	12河川 21箇所 15項目		
14						水生生物調査	環境部	12河川 26箇所	12河川 26箇所					12河川 26箇所	12河川 26箇所		
15			生活排水対策	下水道施設の整備	生活排水対策	下水道施設の整備	栃木県生活排水処理構想に基づく整備計画の推進(公共下水道の整備)	公共下水道処理区域	普及人口	環境部	60,276人	60,583人				58,579人	57,029人
									普及率	環境部	58.8%	59.3%				58.9%	59.2%
									水洗化人口	環境部	50,643人	55,949人				50,613人	50,414人
	水洗化率	環境部							84.0%	92.4%				86.4%	88.4%		
16	生活排水対策	下水道施設の整備	生活排水対策	下水道施設の整備	栃木県生活排水処理構想に基づく整備計画の推進(地域に応じた下水道施設の整備)	農業集落排水事業	普及人口	環境部 経済部	3,986人	4,204人				3,894人	3,774人		
							普及率	環境部 経済部	100.0%	100.0%				100.0%	100.0%		
							水洗化人口	環境部 経済部	2,821人	3,381人				2,991人	3,050人		
							水洗化率	環境部 経済部	70.8%	80.4%				76.8%	80.8%		
17					栃木県生活排水処理構想に基づく整備計画の推進(個人が設置する浄化槽設置整備の促進)	浄化槽設置数	環境部	3,186基	3,508基				4,590基	5,640基			

番号	大項目	中項目	小項目	施策名	行動内容	項目	担当部	現状値 (H22)	H24 実績	H25 実績	H26 実績	H27 実績	目標値 (H28)	目標値 (H33)	
18		(2) 緑環境の保全	緑化の推進	緑の基本計画の推進	公園緑地の整備	都市公園面積	都市建設部	109.62ha	109.76ha				111ha	112ha	
19						その他公園面積		47.42ha	47.50ha				48ha	48ha	
20	4 環境への負荷を減らす	(1) 生活環境の保全	環境管理システムづくり	環境管理システムづくり	事業者の環境配慮推進(行政と市民との環境保全協定の推進)	環境保全協定数(公害防止協定を含む)	環境部	183社	183社				184社	184社	
21			大気保全	交通対策	生活バス路線「リーバスネット」の整備	リーバスの運行路線数	市民部	14路線	13路線					13路線	13路線
22						公用車におけるクリーンエネルギー自動車の導入	HV・EV車等の台数	全部局	14台	12台				18台	22台
23		不法投棄の防止	不法投棄防止対策	環境パトロールの充実強化	不法投棄箇所数	環境部	49箇所	10箇所					25箇所	15箇所	
24					クリーン鹿沼の実施	クリーン鹿沼実施箇所数	環境部	31箇所	26箇所				20箇所	20箇所	
25		(2) 地球温暖化対策	温室効果ガス排出量の抑制	地球温暖化対策地域推進計画の推進	年度ごとの温室効果ガス排出量の公表	鹿沼市全域からの温室効果ガス排出量	環境部	754,069 t-CO2	729,638 t-CO2					665,000 t-CO2	611,000 t-CO2
26						公共施設からの温室効果ガス排出量		31,349 t-CO2	26,685 t-CO2				27,600 t-CO2	25,400 t-CO2	
27						家庭用太陽光発電導入の支援		家庭の太陽光発電導入数	環境部	574基	950基				2,000基
28			クリーンエネルギーの導入促進	クリーンエネルギーの利用	公共施設での率先導入	太陽光発電などによる公園灯の設置	全部局	23基	25基					37基	37基
29	太陽光発電など(公共施設)					1箇所		1箇所				3箇所	5箇所		
30	5 循環型社会への転換を目指す	(1) 3R(リデュース・リユース・リサイクル)の推進	ごみの排出抑制	ごみ減量の推進	家庭ごみの減量化	ごみの総排出量(集団回収分を含む)	環境部	32,680t	34,142t				30,729t	29,091t	
31						燃やすごみ総排出量		24,166t	25,042t				22,958t	21,750t	
32					生ごみの堆肥化促進	生ごみ処理機設置数	環境部	845基	876基				1,005基	1,155基	
33						コンポスト容器設置数	8,031基	8,112基				8,375基	8,675基		
34			資源の再利用・リサイクルの推進	リサイクルの推進	5種14分別と3Rの推進	資源化量	環境部	6,557t	5,982t					6,196t	5,988t
35						集団回収量		2,209t	1,993t				1,970t	1,823t	
36	リサイクル率	20.3%				17.5%					20.2%	20.6%			

第4章 地球温暖化対策地域推進計画の実績

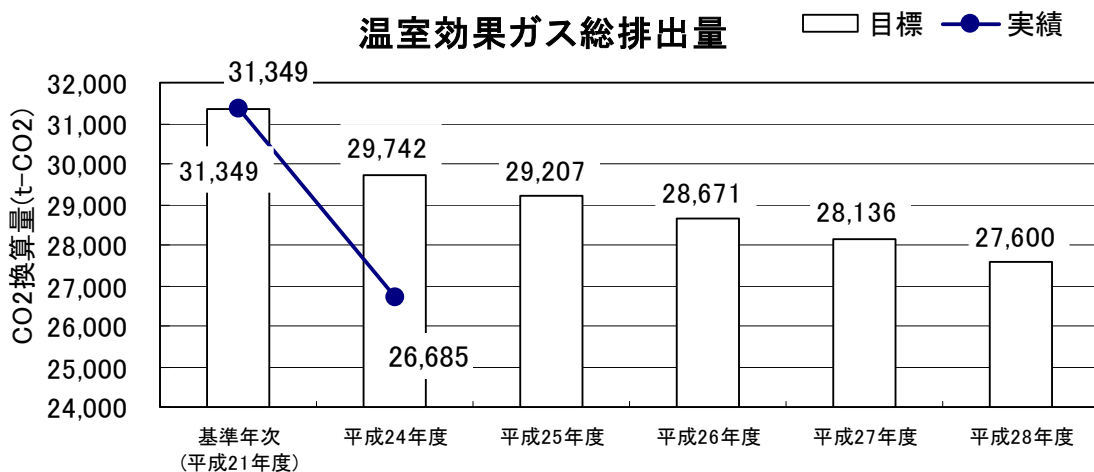
鹿沼市では、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく計画を平成 14 年から策定し、温室効果ガスの排出抑制等、環境への負荷低減に取り組んできました。

平成 24 年 3 月には、地球温暖化対策の推進に関する法律に規定される地方公共団体実行計画である「鹿沼市地球温暖化対策地域推進計画」を策定し、市域における自然的社会的条件に応じて温室効果ガスの排出の抑制等を行う施策を実施することにより、地球温暖化対策の推進に取り組んでいます。

鹿沼市地球温暖化対策地域推進計画の平成 24 年度実績について

1 市の事業者としての削減目標

(1) 事務事業活動に伴う温室効果ガス総排出量(二酸化炭素換算)



平成 24 年度の温室効果ガスの総排出量は 26,685 トン-CO₂ と、基準年次(平成 21 年度)からは 4,664 トン-CO₂、14.9 パーセントの温室効果ガスを削減しました。

		基準年次 (H21)	H24	H25	H26	H27	目標年次 H28
目 標	排出量(t)	31,349	29,742	29,207	28,671	28,136	27,600
	対基準年次 削減量(t)	-	1,607	2,142	2,678	3,213	3,749
	増減率(%)	-	▲5.1	▲6.8	▲8.5	▲10.2	▲12.0
	増減率(%)	-	▲14.9				
実 績	排出量(t)	31,349	26,685				
	対基準年次 削減量(t)	-	4,664				
	増減率(%)	-	▲14.9				
	増減率(%)	-	▲14.9				

(2) 温室効果ガス排出量の内訳(削減の内訳)

ア 資源・エネルギー等使用に伴う温室効果ガス排出状況

活動項目	単位	基準年次	平成 24 年度	増減	CO ₂ 排出量 増減(t)	増減率 (%)
電 気 使 用	kW	27,560,846	26,652,681	▲908,165	1,949	18.7
A 重 油 使 用	ℓ	516,019	385,680	▲130,339	▲352	▲25.2
プロパンガス使用	kg	238,270	181,453	▲56,817	▲170	▲23.8
都 市 ガス使用	m ³	234,668	178,867	▲55,801	▲73	▲15.9
灯 油 使 用	ℓ	720,554	623,339	▲97,215	▲242	▲13.5
ガソリン使用	ℓ	172,704	150,925	▲21,779	▲50	▲12.5
軽 油 使 用	ℓ	163,071	133,187	▲29,884	▲83	▲19.4
公 用 車 走 行	km	2,226,253	2,053,920	▲172,333	▲4	▲21.1
計					975	6.2

イ 廃棄物の焼却による温室効果ガス排出状況

活動項目	単位	基準年次	平成 24 年度	増減	CO ₂ 排出量 増減(t)	増減率 (%)
一般廃棄物焼却	t	26,108	24,049	▲2,059	▲30	▲6.4
廃プラスチック焼却	t	5,378	3,174	▲2,204	▲5,640	▲39.1
下水汚泥焼却	t	35	1	▲34	▲9	▲90.0
計					▲5,679	▲38.1

ウ その他の事項による温室効果ガス排出状況

活動項目	単位	基準年次	平成 24 年度	増減	CO ₂ 排出量 増減(t)	増減率 (%)
カーエアコンの使用	台	325	340	15	▲1	▲16.7
下 水 処 理	m ³	10,002,959	10,481,868	478,909	32	4.7
し 尿 処 理	m ³	6,023	4,444	▲1,579	▲3	▲37.5
浄 化 槽	人	6,786	7,022	236	12	9.6
計					40	4.9

温室効果ガス増減量

$$ア + イ + ウ = 975t + ▲5,679t + 40t = ▲4,664t$$

(3) 温室効果ガス削減状況の考察

ア 資源・エネルギーの使用に伴う温室効果ガス排出状況について

資源・エネルギーの使用については、すべての活動項目において前年度より減少し、二酸化排出量換算で目標年次の削減率(以下、「目標削減率」という。)5.1 パーセントを大きく超える 14.9 パーセントの削減を達成する良好な結果となりました。

なお、二酸化炭素排出量については、電気使用に伴う二酸化炭素排出量のみが基準年度と比較し 1,949 トンの増加となりましたが、この原因は、電気事業者の排出係数値の上昇によるものです。

施設における具体的な取組としましては、支障のない範囲での照明の間引き、冷房温度を 28℃に設定、グリーンカーテンや遮光ネットの利用などにより節電を図るなど、行政経営マニュアルに定められた“もったいない運動の基本理念に基づく率先活動の推進”に沿ったエコオフィス活動を通じて、職員に省エネルギーの習慣が浸透してきていると思われま

イ 廃棄物の焼却に伴う温室効果ガス排出状況について

一般廃棄物焼却に伴う温室効果ガス排出量については、削減率 6.4 パーセントであったが、廃プラスチック焼却に伴う温室効果ガス排出量は、39.1 パーセントを削減する良好な結果となりました。これは、プラスチックごみの分別がより徹底されたものと考えられます。

また、下水汚泥焼却に伴う温室効果ガス排出量については、黒川終末処理場から排出された汚泥の再資源化により、90 パーセントを削減しました。

ウ その他の事項による温室効果ガス排出状況について

下水処理に伴う温室効果ガス排出量の増加については、処理人口の増加に伴うもので、4.7 パーセントの増加でありました。一方、し尿処理に伴う温室効果ガス排出量は、汲取り戸数の減少により 37.5 パーセント削減されました。

(4) 今後の取組

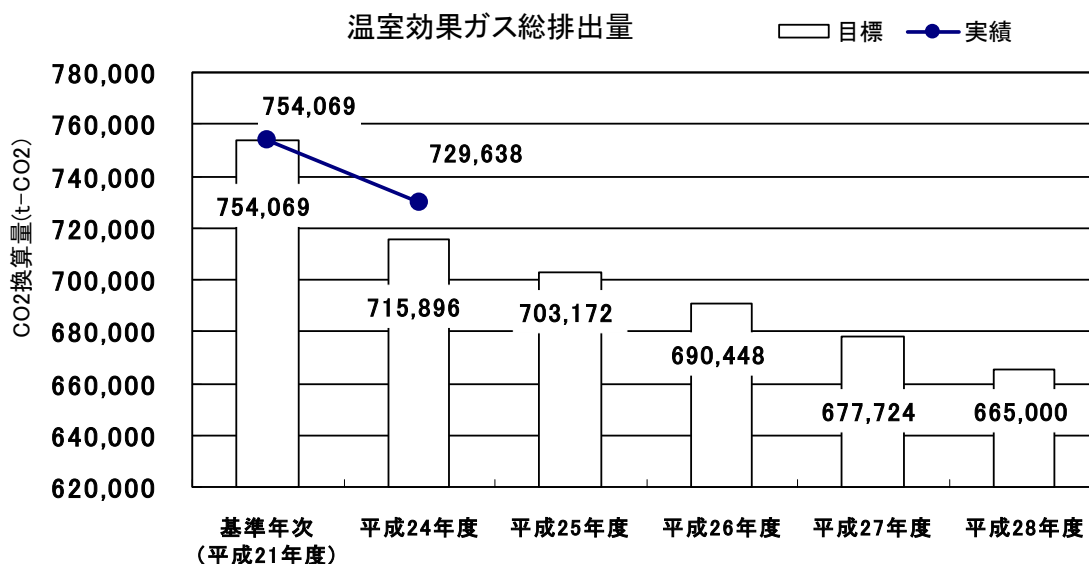
資源・エネルギー等の使用量の削減については、鹿沼市行政経営マニュアルに定められた手順に従って、引き続きすべての職員がエコオフィス活動等に積極的に取り組んでいくこととともに、効率的な行政運営に努めていくことが重要です。

また、廃棄物の焼却に伴う温室効果ガスの排出については、平成 18 年 10 月に家庭の燃やすごみの有料化、平成 20 年 10 月には 5 種 14 分別の収集を開始し、分別の徹底による温室効果ガスの排出の削減に取り組んできました。

さらなる温室効果ガスの削減のためには、鹿沼市版もったいない運動における市民運動の拡大を図りながら、広く市民にごみ減量やリサイクルの推進について、意識啓発を行っていくことや、太陽光発電等の再生可能エネルギー利用の普及促進に努めていく必要があります。

2 市全域としての削減目標

(1) 温室効果ガス総排出量(二酸化炭素換算)



環境省の作成した地球温暖化対策地方公共団体実行計画(区域施策編)策定マニュアル(第1版)簡易版(以下「簡易版マニュアル」という。)により算出した平成24年度の温室効果ガスの総排出量は、729,638 トン-CO₂ と基準年次(平成21年度)からは 24,431 トン-CO₂、3.2 パーセントの温室効果ガスを削減しました。

		基準年次 (H21)	H24	H25	H26	H27	目標年次 H28
目 標	排出量(t)	754,069	715,896	703,172	690,448	677,724	665,000
	対基準年次 削減量(t)	-	38,173	50,897	63,621	76,345	89,069
	増減率(%)	-	▲5.1	▲6.7	▲8.4	▲10.1	▲11.8
	増減率(%)	-	▲5.1	▲6.7	▲8.4	▲10.1	▲11.8
実 績	排出量(t)	754,069	729,638				
	対基準年次 削減量(t)	-	24,431				
	増減率(%)	-	▲3.2				
	増減率(%)	-	▲3.2				

(2) 温室効果ガス削減状況の考察

簡易版マニュアルは、廃棄物を除く分野で都道府県及び全国のエネルギー使用量から算定した二酸化炭素排出量を、部門別の指標によって按分しているため実態を反映していない場合があるため、本計画では参考値として扱っています。

二酸化炭素排出量については、ここ数年低下傾向にあります。景気の低迷等による経済活動の停滞が影響しているものと考えられます。

3 平成 24 年度の主な取組実績

平成 24 年度において、温室効果ガスの排出を削減するため、基本方針に基づき次のような取組を行った。

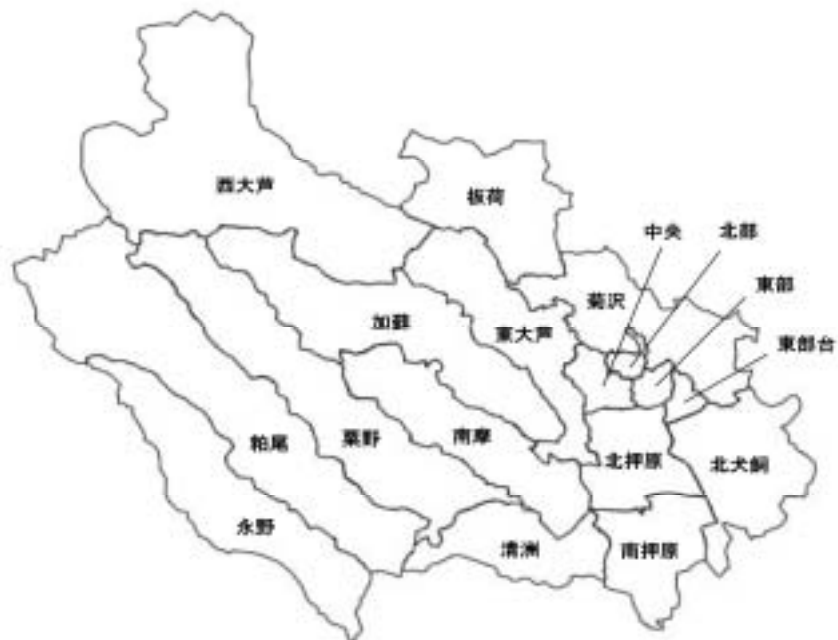
基本方針	平成24年度の主な取組実績	
	施策	内容
省エネルギー型ライフスタイルの推進	昼休みの消灯	市役所内照明の昼休みの消灯の徹底を図った。
	エアコン設定温度の徹底	市役所内エアコンの設定温度の徹底(夏28℃、冬20℃)を図った。(クールビズ期間:5月17日～10月31日)
	省エネルギーの啓発	広報・ホームページ等による省エネルギー情報の提供やエコライフモニターの募集(優秀者の表彰)を行った。 (広報かめま掲載回数:3回、エコライフモニター応募者数:34人)
	環境イベントの開催	エコライフ・フェアや環境講演会をとおして、環境意識の向上や環境に配慮した行動の促進を図った。 (エコライフ・フェア:出店等団体数35団体、来場者数4,500人) (環境講演会:講師和田武氏(工学博士)、タイトル「再生可能エネルギー中心の社会へ」、参加者170人)
クリーンエネルギーの利用推進	太陽光発電設備補助	住宅用太陽光発電設備の設置に対する補助を行った。 (補助額:2万円/kW(上限8万円)、219件)
	大規模太陽光発電施設の誘致の推進	大規模太陽光発電施設(500kW以上)の償却資産として課税される固定資産税相当額の補助を3年間行う制度を創設した。 (誘致数:1施設)
循環型社会の構築	マイはし・マイバック運動	職員のマイはし・マイバック運動の推進を図った。 (実施率:マイはし67.3%、マイバック50.5%)
	資源物の集団回収の推進	自治会・町内会などによる資源物の集団回収の推進を図った。 (登録団体:158団体、回収重量:1,993トン)
	家庭用生ごみ処理機、コンポストの購入補助	家庭用生ごみ処理機、コンポストの購入補助 (生ごみ処理機補助:購入額の2分の1(上限5万円)、19台) (コンポスト容器補助:購入額の2分の1(上限6,000円)、33個)
地域環境の整備・改善	里山等の保全活動の促進	とちぎの元気な森県民税事業を活用し、自治会等にて里山等の整備・管理を行った。 (整備面積:22ha、管理面積105.72ha)
	エコ通勤の実施	職員のエコ通勤を実施した。 (12日間、実施率平均19.8%)
	近距離移動の自転車利用の促進	職員の近距離移動の自転車利用の促進を図った。

第5章 地域別環境配慮行動計画の実績

地域にはそれぞれ、自然的特性や社会的特性などがあり多様性を持っています。

平成 16 年のきれいなまちづくり推進員の組織化を契機に、地域の環境保全活動の連携が図られ、地域環境ネットワークの構築が進められてきました。

このネットワークのもとに、市内にある 17 の各地区において地域の特性に応じた環境保全の目標設定、活動、進行管理が主体的に行われ、地域環境力が高まっています。



鹿沼市地区図

地区	取り組み内容（行動指針）	H22年度 現状値	H24年度 実績	達成率 (対H28目)	H28年度 目標値	H33年度 目標値
中央	不法投棄・ポイ捨ての防止 ・地域の巡回、不法投棄物の早期撤去	実施	実施	100%	実施	実施
	空き地・空き家の適正管理 ・土地所有者、利用者との協力による空き地、空き家の見回り（市への連絡）	-	実施	100%	実施	実施
	ごみ処理・リサイクルの推進 ・定期的なステーションの監視（分別指導・持込監視）	実施	実施	100%	実施	実施
	・資源の有効活用（集団回収の促進）	23団体	18団体	86%	21団体	21団体
	小藪川などの河川清掃 ・小藪川や水路の清掃、周辺環境の整備	年1回	年1回	100%	年1回	年1回
	きれいなまちづくりへの参加 ・きれいなまちづくりの地域での啓発	実施	実施	100%	実施	実施
	・道路や各自治会の拠点施設等の清掃の実施	実施	実施	100%	実施	実施
	・花いっぱい運動の推進	実施	実施	100%	実施	実施
	不法投棄・ポイ捨ての防止 ・きれいなねっつ等の団体育成	2団体	1団体	50%	2団体	2団体
	適切な土地利用 ・空き地や空き家の管理要請	実施	実施	100%	実施	実施
東部	大気汚染の防止 ・自動車の排気ガスについて関連団体との連携による周知活動	実施	未実施	0%	実施	実施
	ごみ処理、リサイクルの推進 ・集団回収活動の促進	17団体	17団体	100%	17団体	17団体
	西武子川の水質汚濁の防止 ・河川の清掃活動	年2回	実施	100%	年2回	年2回
	きれいなまちづくりへの参加 ・ごみステーションの巡回	実施	実施	100%	実施	実施
	・地域の清掃活動の実施	年2回	年2回	100%	年2回	年2回
	・花いっぱい運動の推進	実施	実施	100%	実施	実施
	騒音、振動の防止 ・自動車の騒音・振動について関連団体との連携による周知	実施	未実施	0%	実施	実施
	野生動植物の保護 ・自然保護・生育環境保全の周知	実施	未実施	0%	実施	実施
	不法投棄・ポイ捨ての防止 ・地域の啓発活動の推進	実施	実施	100%	実施	実施
	空き地・空き家の適正な管理 ・土地所有者、利用者との協力による空き地・空き家の見回り（草刈り・除草の行政連絡）	実施	実施	100%	実施	実施
北部	ごみ処理・リサイクルの推進 ・ごみ分別の徹底	実施	実施	100%	実施	実施
	・放置自転車対策	実施	実施	100%	実施	実施
	・資源の有効活用（集団回収の促進）	20団体	16団体	80%	20団体	20団体
	きれいなまちづくりへの参加 ・きれいなまちづくりの地域での啓発	実施	実施	100%	実施	実施
	・地域の清掃活動の実施	年3回	年3回	100%	年3回	年3回
	・花いっぱい運動の推進	実施	実施	100%	実施	実施
	不法投棄・ポイ捨ての防止 ・クリーン鹿沼の実施	年2回	年1回	50%	年2回	年2回
	空き地・空き家の適正な管理 ・土地所有者、利用者との協力による空き地・空き家の見回り（草刈り・除草の行政連絡）	実施	実施	100%	実施	実施
	黒川・武子川の水質汚濁の防止 ・河川の清掃活動	年2回	年2回	100%	年2回	年2回
	ごみ処理・リサイクルの推進 ・ごみ分別の徹底	実施	実施	100%	実施	実施
菊沢	・放置自転車対策	実施	実施	100%	実施	実施
	・資源の有効活用（集団回収の促進）	年12回	年12回	100%	年12回	年12回
	きれいなまちづくりへの参加 ・きれいなまちづくりの地域での啓発	実施	実施	100%	実施	実施
	・地域の清掃活動の実施	年2回	年2回	100%	年2回	年2回
	・花いっぱい運動の推進	実施	実施	100%	実施	実施
	適切な土地利用 ・耕作放棄地の活用（どろん子ふれあい農園事業の支援）	実施	実施	100%	実施	実施

地区	取り組み内容（行動指針）	H22年度 現状値	H24年度 実績	達成率 (対H28目)	H28年度 目標値	H33年度 目標値
東 大 芦	不法投棄・ポイ捨ての防止 ・ 地区内の巡回・現状把握	年2回	年3回	150%	年2回	年2回
	空き地・空き家の適正な管理 ・ 土地所有者、利用者との協力による空き地、空き家の見回り（市への連絡）	-	年1回	100%	年1回	年1回
	有害鳥獣対策 ・ 行政との連携による被害の防止と安全対策（随時行政への通報）	実施	実施	100%	実施	実施
	ごみ処理・リサイクルの推進 ・ 集団回収の促進	9団体	8団体	100%	8団体	8団体
	水質汚濁の防止 ・ 河川の清掃活動（河川パトロール）	年1回	年1回	100%	年1回	年1回
	きれいなまちづくりへの参加 ・ 環境美化の日への参加	年2回	年2回	100%	年2回	年2回
	・ 地区内一斉草刈りの実施	年1回	年2回	100%	年1回	年1回
	・ 花いっぱい運動の推進	実施	実施	100%	実施	実施
北 押 原	不法投棄・ポイ捨ての防止 ・ 不法投棄物の撤去、啓発看板の設置 ・ ペットの適正管理（糞の適正処理）	実施 実施	実施 実施	100% 100%	実施 実施	実施 実施
	空き地・空き家の適正な管理 ・ 土地所有者、利用者との協力による空き地、空き家の見回り（市への連絡）	-	実施	100%	実施	実施
	河川環境の保全 ・ 黒川、小藪川、瀬戸川等の清掃の実施	年1回	年1回	100%	年1回	年1回
	ごみ処理・リサイクルの推進 ・ ごみ分別の徹底（ごみステーションパトロール）	実施	実施	100%	実施	実施
	・ 資源の有効活用（集団回収の促進）	16団体	16団体	114%	14団体	14団体
	・ マイバックの普及・啓発（リサイクル協力店や地域住民）	実施	実施	100%	実施	実施
	きれいなまちづくりへの参加 ・ きれいなまちづくりの地域での啓発 ・ 道路や各自治会の拠点施設等の清掃の実施 ・ 花いっぱい運動の推進	年3回 実施 実施 実施	年3回 実施 実施 未実施	100% 100% 0%	年3回 実施 実施 実施	年3回 実施 実施 実施
板 荷	不法投棄・ポイ捨ての防止 ・ 地域の啓発活動の実施 ・ クリーン鹿沼の実施 ・ 防犯パトロールの実施	年1回 年1回 月1回	年2回 年1回 月1回	200% 100% 0%	年1回 年1回 月1回	年1回 年1回 月1回
	水質汚濁の防止 ・ 排水対策（生活、事業系排水の環境負荷の低減） ・ 河川の清掃活動（黒川、久保田堀、大鹿島堀、吉良堀、長畑川）	年1回 年1回	年1回 年1回	100% 100%	年1回 年1回 (5箇所)	年1回 年1回 (5箇所)
	きれいなまちづくりへの参加 ・ きれいなまちづくりの地域での啓発 ・ 地域の清掃活動の実施 ・ 花いっぱい運動の推進 ・ 空き地の雑草管理の啓発	年1回 年3回 7団体 -	年2回 年3回 0団体 年1回	100% 100% 0% 100%	年2回 年3回 7団体 年1回	年2回 年3回 9団体 年1回
	有害鳥獣対策 ・ 行政との連携による被害の防止と安全対策	年1回	年1回	100%	年1回	年1回
	森林の保全 ・ 土地所有者の協力 ・ 森林ボランティア活動の推進 ・ 広葉樹への転換促進 ・ 間伐の促進と森林の適正管理	年1回 3団体 1箇所 11箇所	年1回 3団体 1箇所 11箇所	100% 100% 100% 100%	年1回 3団体 1箇所 11箇所	年1回 3団体 2箇所 13箇所

地区	取り組み内容（行動指針）	H22年度 現状値	H24年度 実績	達成率 (対H28目)	H28年度 目標値	H33年度 目標値
西 大 芦	不法投棄・ポイ捨ての防止					
	・ 地域の巡回	年2回	年2回	50%	年2回	年2回
	森林の保全					
	・ 地域の巡回による不法投棄の防止	年2回	年2回	100%	年2回	年2回
	有害鳥獣対策					
	・ 行政との連携による被害の防止と安全対策	実施	実施	100%	実施	実施
	空き家の適正な管理					
	・ 土地所有者、利用者との協力による空き家の見回り（市への連絡）	-	未実施	0%	実施	実施
	ごみ処理・リサイクルの推進					
	・ ごみ分別の徹底	実施	実施	100%	実施	実施
	・ 集団回収の促進（説明会開催）	年1回	年1回	100%	年1回	年1回
	きれいなまちづくりへの参加					
・ 地域の清掃活動の実施	年2回	年2回	100%	年2回	年3回	
・ 花いっぱい運動の推進	1団体	0団体	0%	1団体	2団体	
・ 道路脇の景観美化（地域活性化地区別行動）	年3回	年3回	67%	年3回	年4回	
水質の保全						
・ 河川清掃	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回	
加 蘇	不法投棄・ポイ捨ての防止					
	・ 地域の啓発活動の推進	実施	実施	100%	実施	実施
	・ 加蘇地区クリーン診断の実施	年0回	年1回	100%	年1回	年1回
	・ 不法投棄箇所の解消	1か所	懸案場所0箇所	100%	1か所	1か所
	水質汚濁の防止					
	・ 地域内の河川・水路の清掃活動	年2回	年2回	100%	年2回	年2回
	空き地・空き家の適正な管理					
	・ 土地所有者、利用者との協力による空き地、空き家の見回り（市への連絡）	-	実施	100%	実施	実施
	ごみ処理・リサイクルの推進					
	・ ごみ分別の徹底	実施	実施	100%	実施	実施
・ 資源の有効活用（集団回収の促進）	6団体	5団体	83%	6団体	6団体	
きれいなまちづくりへの参加						
・ きれいなまちづくりの地域での啓発	実施	実施	100%	実施	実施	
・ 地域（道路・拠点施設）の清掃活動の実施	年3回	年3回	100%	年3回	年3回	
・ 加蘇フラワーパーク構想の推進	実施	実施	100%	実施	実施	
北 犬 飼	不法投棄・ポイ捨ての防止					
	・ クリーン鹿沼の実施	年4回	年10回	250%	年4回	年4回
	空き地・空き家の適正な管理					
	・ 啓発活動の実施	年0回	年0回	0%	年1回	年1回
	水質汚濁の防止					
	・ 河川の清掃活動（堀ざらい）	年0回	年2回	200%	年1回	年1回
	大気汚染の防止					
	・ 啓発活動の実施（ちらしの配布）	年0回	年0回	0%	年1回	年1回
	ごみ処理・リサイクルの推進					
	・ リサイクル推進協力店の拡充と集団回収の促進					
	リサイクル推進協力店数	6店舗	6店舗	100%	6店舗	6店舗
	集団回収団体数	13団体	11団体	100%	11団体	11団体
きれいなまちづくりへの参加						
・ 環境美化の日	年2回	年2回	100%	年2回	年2回	
・ きれいねっと活動	5団体	6団体	100%	6団体	7団体	
・ 自治会の清掃活動	実施	実施	100%	実施	実施	
・ 環境美化推進モデル団体活動	実施	実施	100%	実施	実施	

地区	取り組み内容（行動指針）	H22年度 現状値	H24年度 実績	達成率 (対H28目)	H28年度 目標値	H33年度 目標値
東 部 台	不法投棄・ポイ捨ての防止					
	・ 不法投棄・ポイ捨て防止の啓発活動	随時	随時	100%	随時	随時
	・ 地域関係団体と協力した啓発活動の推進 (会報の内容充実・発行)	年1回	年1回	100%	年1回	年1回
	空き地・空き家の適正な管理					
	・ 土地所有者、利用者との協力による空き地・空き家の管理指導	随時	随時	100%	随時	随時
	・ 所有者不明地に対する行政の指導を支援	随時	随時	100%	随時	随時
	ごみ処理・リサイクルの推進					
	・ ごみ分別の徹底（啓発・指導）	随時	随時	100%	随時	随時
	・ 放置自転車対策（巡視・設置管理の要請）	随時	随時	100%	随時	随時
	・ 資源の有効活用（集団回収の促進）	11団体	12団体	109%	11団体	11団体
	・ マイバック運動の推進（実践活動の充実）	随時	随時	100%	随時	随時
	・ ごみ減量化への取組み（行政、商工団体と連携して 過剰包装抑制の呼びかけ）	随時	随時	100%	随時	随時
	きれいなまちづくりへの参加					
	・ きれいなまちづくりの地域での啓発 (会報の内容充実・発行)	年1回	年1回	100%	年1回	年1回
	・ 犬の散歩時のマナー指導	年0回	年0回	0%	年1回	年1回
・ 地域の清掃活動の実施と関係団体との連携	随時	随時	100%	随時	随時	
・ 花いっぱい運動の推進	実施	実施	100%	実施	実施	
・ 茂呂山の清掃	年1回	年1回	100%	年1回	年1回	
・ きこの栽培	年1回	年1回	100%	年1回	年1回	
南 摩	不法投棄・ポイ捨ての防止					
	・ クリーン鹿沼の実施	-	年0回	0%	年1回	年1回
	悪臭の防止					
	・ 事業者への協力要請	実施	実施	100%	実施	実施
	・ 堆肥化センターの活用促進	実施	実施	100%	実施	実施
	環境教育の推進					
	・ 子どもエコクラブ活動の推進	1団体	1団体	100%	1団体	1団体
	森林の保全					
	・ 高木校庭、城山ハイキングコースの整備への協力	実施	実施	100%	実施	実施
	ごみ処理・リサイクルの推進					
	・ ごみ分別の徹底	実施	実施	100%	実施	実施
・ 資源の有効活用（集団回収の促進）	9団体	8団体	89%	9団体	9団体	
きれいなまちづくりへの参加						
・ 環境美化の日への参加	年2回	年2回	100%	年2回	年2回	
・ 不法投棄、ベットの糞対策等の看板の設置	実施	実施	100%	実施	実施	
・ きれいなまちづくりの地域での啓発	実施	実施	100%	実施	実施	
・ 地域の清掃活動の実施	実施	実施	100%	実施	実施	
・ 花いっぱい運動の推進	実施	実施	100%	実施	実施	
南 押 原	不法投棄・ポイ捨ての防止					
	・ 黒川河川清掃（クリーン鹿沼の実施）	年1回	年1回	100%	年1回	年1回
	空き地・空き家の適正な管理					
	・ 土地所有者、利用者との協力による空き地・空き家の管理（市への連絡）	実施	実施	100%	実施	実施
	ごみ処理・リサイクルの推進					
	・ ごみ分別の徹底	実施	実施	100%	実施	実施
	・ 資源の有効活用（集団回収の促進）	4団体	6団体	86%	7団体	7団体
	きれいなまちづくりへの参加					
・ きれいなまちづくりの地域での啓発	実施	実施	随時	随時	随時	
・ 地域の清掃活動の実施	年2回	年3回	150%	年2回	年2回	
・ 花いっぱい運動の推進	3団体	6団体	120%	5団体	5団体	
大気汚染の防止						
・ 野焼き禁止の啓発・行政との連携	実施	実施	100%	実施	実施	

地区	取り組み内容（行動指針）	H22年度 現状値	H24年度 実績	達成率 (対H28目)	H28年度 目標値	H33年度 目標値
粟 野	不法投棄・ポイ捨ての防止					
	・ 地域の啓発活動（不法投棄箇所の調査等）	実施	実施	100%	実施	実施
	・ 地域の行動活動（クリーン鹿沼の実施）	年2回	年2回	100%	年2回	年2回
	空き地・空き家の適正な管理					
	・ 土地所有者、利用者との協力による空き地・空き家の見回り（地区で連携し美化の日に除草実施）	年2回	年2回	100%	年2回	年2回
	水質汚濁の防止					
	・ 排水対策（生活、事業系排水の環境負荷の低減）のPR	年1回	年1回	100%	年1回	年1回
	ごみ処理・リサイクルの推進					
	・ ごみ分別の徹底	実施	実施	100%	実施	実施
	・ 資源の有効活用（集団回収の促進）	6団体	7団体	117%	6団体	6団体
粕 尾	きれいなまちづくりへの参加					
	・ きれいなまちづくりの地域での啓発	実施	実施	100%	実施	実施
	・ 地域の清掃活動の実施（美化の日）	年2回	年2回	100%	年2回	年2回
	・ 花いっぱい運動の推進	実施	実施	100%	実施	実施
	不法投棄・ポイ捨ての防止					
	・ 地域の啓発活動の推進	実施	実施	100%	実施	実施
	空き家の適正管理					
	・ 土地所有者、利用者との協力による空き家の管理（市への連絡）	-	未実施	0%	実施	実施
	野生生物との共生					
	・ 和田用水「ぼたるの里」の保全活動	年1回	年1回	100%	年1回	年1回
・ 行政との連携による有害鳥獣の被害防止と安全対策	通年	通年	100%	通年	通年	
永 野	思川などの水質汚濁の防止					
	・ 河川等の清掃活動の実施	年1回	年1回	100%	年1回	年1回
	きれいなまちづくりへの参加					
	・ きれいなまちづくりの地域での啓発	実施	実施	100%	実施	実施
	・ 地域の清掃活動の実施	年2回	年2回	100%	年2回	年2回
	・ 花いっぱい運動の推進	実施	未実施	0%	実施	実施
	不法投棄・ポイ捨ての防止					
	・ クリーン鹿沼の実施	年1回	年2回	100%	年1回	年1回
	空き地・空き家の適正な管理					
	・ 土地所有者、利用者との協力による空き地・空き家の管理（草刈り・除草の行政連絡）	実施	未実施	0%	実施	実施
清 洲	水質汚濁・悪臭の防止					
	・ 生活排水に対する啓発活動	実施	未実施	0%	実施	実施
	・ 事業者の協力の要請	実施	未実施	0%	実施	実施
	有害鳥獣対策					
	・ 行政との連携による被害の防止と安全対策	実施	実施	100%	実施	実施
	きれいなまちづくりへの参加					
	・ 環境美化の日の清掃活動	年2回	年2回	100%	年2回	年2回
	・ 草刈り	年1回	年1回	100%	年1回	年1回
	不法投棄・ポイ捨ての防止					
	・ 地域の啓発活動の推進（投棄物の回収）	年1回	年2回	200%	年1回	年1回
清 洲	空き地・空き家の適正な管理					
	・ 土地所有者、利用者との協力による空き地・空き家の見回り（草刈り・除草の行政連絡）	-	年1回	100%	年1回	年1回
	水質汚濁及び悪臭の防止					
	・ 排水対策（生活、事業系排水の環境負荷の低減）のPR	年1回	年0回	100%	年1回	年1回
	・ 事業者への協力要請	年1回	年0回	100%	年1回	年1回
	有害鳥獣対策					
	・ 行政との連携による被害の防止と安全対策	-	年1回	100%	年1回	年1回
	ごみ処理・リサイクルの推進					
	・ ごみ分別の徹底	実施	実施	100%	実施	実施
	・ 資源の有効活用（集団回収の促進）	5団体	5団体	100%	5団体	5団体
清 洲	きれいなまちづくりへの参加					
	・ きれいなまちづくりの地域での啓発	年1回	年1回	100%	年1回	年1回
	・ 地域の清掃活動の実施	年2回	年2回	100%	年2回	年2回

資料集

1 大気環境の状況

平成23年度 環境基準達成状況

測定局	測定物質名	達成状況		環境上の条件	環境基準による大気汚染の評価	
		長期的評価	短期的評価			
一般環境測定局	市役所	二酸化硫黄	○	○	1時間値の1日平均値が0.04ppm以下であり、かつ、1時間値が0.1ppm以下であること	長期的評価及び短期的評価
		二酸化窒素	○	/	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること	98%値評価 (長期的評価に相当)
		浮遊粒子状物質	○	○	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること	長期的評価及び短期的評価
		光化学オキシダント	/	×	1時間値が0.06ppm以下であること	昼間の1時間値で評価 (短期的評価に相当)
ガス自動車排出	歩道所橋町	二酸化窒素	○	/	1時間値の1日平均値が0.04ppmから0.06ppmまでのゾーン内又はそれ以下であること	98%値評価 (長期的評価に相当)
		浮遊粒子状	○	○	1時間値の1日平均値が0.10mg/m ³ 以下であり、かつ、1時間値が0.20mg/m ³ 以下であること	長期的評価及び短期的評価

- 1 “○”は環境基準等達成、“×”は未達成、“-”は評価対象外を示す。
- 2 長期的評価とは、年間にわたる測定結果を長期的に観察した上で評価することをいう。
- 3 短期的評価とは、連続又は随時に行った測定結果により、測定を行った日又は時間について評価することをいう。

光化学スモッグ注意報発令日数

区分	H16年度	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
県内	7	14	8	16	5	7	16	11	2
鹿沼	6	8	5	8	2	2	0	5	0

2 水環境の状況

平成24年度 河川水質調査結果

	理化学項目調査	水生生物調査
調査回数	1回（3月）	1回（3月）
調査地点	12河川・21地点	12河川・26地点

河川名	採水地点	水生生物による水質階級	分析内容（上段:項目、下段:単位）									類型	
			透視度 cm	pH	BOD mg/ℓ	SS mg/ℓ	DO mg/ℓ	T-N mg/ℓ	T-P mg/ℓ	大腸菌 MPN/100mℓ	流量 m3/min		
黒川	大原堰堤上	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A
	柿沢橋下	-	>30	7.3	<0.5	<1.0	11.0	0.88	0.007	330	0.27	A	
	下遠部橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
	御成橋下	-	>30	7.4	0.6	2.0	11.0	1.50	0.013	1,700	0.94	A	
	府中橋下	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
	貝島橋下	-	>30	7.7	<0.5	2.0	12.0	1.50	0.011	2,800	0.93	A	
	上殿橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
	榎木橋下	きれいな水	>30	7.5	0.6	1.0	10.0	1.50	0.150	1,400	0.80	A	
大芦川	一の鳥居	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	AA	
	大仁田橋	きれいな水	>30	7.6	<0.5	<1.0	11.0	0.52	0.005	79	0.66	AA	
	赤石橋	少しきかない水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	AA	
	北半田橋	-	>30	7.2	<0.5	<1.0	11.0	1.20	0.012	17	0.52	AA	
小藪川	東武線ガード下	少しきかない水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
	壇ノ浦橋	-	>30	8.3	1.1	1.0	13.0	0.98	0.015	1,700	0.02	A	
	榎木町小藪橋	少しきかない水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
行川	富岡橋下	きれいな水	>30	7.6	<0.5	2.0	11.0	1.20	0.019	1,100	0.52	A	
荒井川	法長内橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	AA	
	元加藤出張所前	-	>30	7.5	<0.5	1.0	12.0	0.90	0.009	700	0.19	AA	
	象間橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	AA	
南摩川	豊年橋下	きれいな水	>30	6.7	<0.5	<1.0	10.0	1.20	0.003	23	0.06	A	
武子川	仁神堂橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	B	
	飯岡橋下	-	>30	7.8	0.6	2.0	11.0	2.10	0.046	3,300	0.23	B	
	工業団地東	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	B	
西武子川	寿橋下	きれいな水	>30	7.8	0.6	2.0	12.0	2.50	0.080	3,300	0.06	A	
瀬戸川	黒川橋東	きれいな水	>30	7.5	1.1	4.0	10.0	3.70	0.150	1,100	0.01	A	
粟野川	台東区自然学園前	-	>30	7.2	<0.5	<1.0	11.0	0.52	0.004	23	0.12	A	
	入粟野境	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
	粟野コミセン前	-	>30	7.0	<0.5	<1.0	11.0	0.86	0.009	790	0.11	A	
	清瀬橋下	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
思川	墨田区自然学園前	-	>30	7.2	<0.5	<0.1	11.0	0.42	0.006	22	0.37	A	
	蕪根橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
	大越路橋	-	>30	7.3	<0.5	13.0	11.0	0.90	0.023	790	0.31	A	
	柏木橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
	天満橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
	清南橋	-	>30	7.1	<0.5	2.0	11.0	1.10	0.011	70	0.57	A	
	清洲橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
	小倉橋	-	>30	7.3	<0.5	<1.0	11.0	1.40	0.013	33	0.57	A	
永野川	石倉橋	-	>30	7.5	<0.5	1.0	11.0	0.70	0.013	700	0.15	A	
	田中橋	きれいな水	-	-	-	-	-	-	-	-	-	A	
	倉本橋	きれいな水	>30	6.8	<0.5	1.0	10.0	1.40	0.013	23	0.08	A	
環境基準	類型 AA	6.5 ~ 8.5	1以下	25以下	7.5以上	5以上			50以下				
類型 A	2以下		1,000以下										
類型 B	3以下		5,000以下										

※ 網掛けは環境基準超過、-は未調査

平成24年度 地下水水質調査結果

地区	鹿沼	菊沢	東大芦	北押原	板荷	西大芦	加蘇	北犬飼
地点数	1	6	5	3	2	2	4	4
地区	東部台	南摩	南押原	粟野	粕尾	永野	清洲	合計
地点数	0	2	4	0	0	1	2	36

調査項目	調査月	3月		環境基準
		調査検体数	不適検体数	
カドニウム		36	0	0.01mg/l以下
全シアン		36	0	検出されないこと
鉛		36	0	0.01mg/l以下
六価クロム		36	0	0.05mg/l以下
ひ素		36	0	0.01mg/l以下
総水銀		36	0	0.0005mg/l以下
PCB		36	0	検出されないこと
1,1,1-トリクロロエタン		36	0	1.0mg/l以下
トリクロロエチレン		36	0	0.03mg/l以下
テトラクロロエチレン		36	0	0.01mg/l以下
ふっ素		15	0	0.8mg/l以下
亜硝酸性窒素・硝酸性窒素		15	1	10mg/l以下
ほう酸		15	0	1.0mg/l以下

地下水汚染地域の継続監視

南上野町地区

地区名	調査項目	H25.3	調査項目	H25.3
下奈良部町	トリクロロエチレン (単位 mg/l)	<0.003	テトラクロロエチレン (単位 mg/l)	<0.001
上石川		<0.003		<0.001
南上野町1		<0.003		0.005
南上野町2		<0.003		<0.001
南上野町3		<0.003		<0.001
南上野町4		<0.003		0.001
池ノ森1		<0.003		<0.001
池ノ森		<0.003		0.002
下奈良部町	1,1-ジクロロエチレン (単位 mg/l)	-	シス-1,2-ジクロロ エチレン (単位 mg/l)	-
上石川		-		-
南上野町1		<0.002		<0.004
南上野町2		-		-
南上野町3		<0.002		<0.004
南上野町4		-		-
池ノ森1		-		-
池ノ森		-		-

津田千渡地区

地区名	調査項目	H25.3	調査項目	H25.3
白桑田	トリクロロエチレン (単位 mg/ℓ)	<0.003	テトラクロロエチレン (単位 mg/ℓ)	<0.001
深津1		<0.003		<0.001
深津2		<0.003		<0.001
深津3		<0.003		<0.001
深津4		<0.003		0.013
深津5		<0.003		<0.001
茂呂		<0.003		0.015
白桑田		1,1-ジクロロエチレン (単位 mg/ℓ)		-
深津1	-		-	
深津2	-		-	
深津3	-		-	
深津4	<0.002		<0.004	
深津5	-		-	
茂呂	<0.002		<0.004	

上奈良部町地区(県調査H23年度)

地区名	調査項目	前期	後期	環境基準
上奈良部町1	トリクロロエチレン (単位:mg/ℓ)	0.016	0.019	0.03
上奈良部町2		0.002	0.002	
上奈良部町3	硝酸性窒素及び 亜硝酸性窒素 (単位:mg/ℓ)	22	20	10
上奈良部町4		1	0.9	

特定事業場排水水検査

調査日 平成24年12月5日～6日

調査箇所数 27事業所、42排水口

調査項目	不適検体数	排水基準
生物化学的酸素要求量 (BOD)	2	25mg/ℓ
浮遊物質 (SS)	1	50mg/ℓ
大腸菌群数 (E. ch)	1	3,000個/㎖
n-ヘキサン抽出物質量(油類)	1	5個/㎖

鹿沼工業団地総合排水口水質調査結果 (武子川 調査日: 平成24年12月5日)

調査項目		測定値	排水基準
水素イオン濃度指数	pH	7.2	5.8～8.6
生物化学的酸素要求量	BOD	1.1	25mg/ℓ (3mg/ℓ)
浮遊物質量	SS	<1	50mg/ℓ (25mg/ℓ)
n-ヘキサン抽出物質量	油分	<1	5mg/ℓ
カドミウム	Cd	<0.005	0.1mg/ℓ
シアン	CN	<0.05	1mg/ℓ
鉛	Pb	<0.01	0.1mg/ℓ
六価クロム	Cr ⁺⁶	<0.02	0.1mg/ℓ
ヒ素	As	<0.01	0.1mg/ℓ
クロム	Cr	<0.02	2mg/ℓ
総水銀	Hg	<0.0005	0.005mg/ℓ
銅	Cu	<0.05	3mg/ℓ
亜鉛	Zn	0.06	5mg/ℓ
大腸菌群数	E. ch	30	3,000個/㎖
溶解性鉄	Fe	<0.05	3mg/ℓ
溶解性マンガン	Mn	<0.01	3mg/ℓ
ふっ素	F	<0.2	8mg/ℓ
フェノール類		<0.05	1mg/ℓ
トリクロロエチレン	TCE	<0.001	0.3mg/ℓ
テトラクロロエチレン	PCE	<0.0005	0.1mg/ℓ
1,1,1-トリクロロエタン	MC	<0.001	3mg/ℓ

※ () 内は、河川環境基準 (B類型)

平成24年度 放流水中の有害物質検査結果

検査項目	基準	単位	黒川終末 処理場	栗野 水処理 センター	古峰原 水処理 センター	西沢 水処理 センター	鹿沼 フェニックス
水素イオン濃度(水素指数)	5.8~8.6		7	6.8	6.7	7	8
生物学的酸素要求量 BOD	20	mg/l	2.9	1.8	1.4	2.8	1.8
化学的酸素要求量 COD	20	mg/l	-	-	-	-	1.2
浮遊物質 SS	50	mg/l	1.7	1	<1.0	2.3	<1
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (鉱油類含有量)	5	mg/l	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1
ノルマルヘキサン抽出物質含有量 (動物性油脂類含有量)	30	mg/l	<1.0	<1.0	<1.0	<1.0	<1
フェノール類含有量	5	mg/l	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	<0.1
銅含有量	3	mg/l	<0.1	<0.01	0.03	<0.01	<0.1
亜鉛含有量	2	mg/l	<0.1	<0.1	0.06	0.05	<0.1
溶解性鉄含有量	10	mg/l	<0.1	<0.1	0.02	0.01	<0.1
溶解性マンガン含有量	10	mg/l	<0.1	<0.01	0.01	0.02	<0.1
クロム含有量	2	mg/l	<0.1	<0.01	<0.01	<0.01	<0.1
大腸菌群数	3,000	個/cm ³	1	3	1	322	0
カドミウム及びその化合物	0.1	mg/l	<0.001	<0.005	<0.005	<0.005	<0.001
シアン化合物	1	mg/l	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
有機燐化合物	1	mg/l	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1	<0.1
鉛及びその化合物	0.1	mg/l	<0.005	<0.01	<0.01	<0.01	<0.005
六価クロム化合物	0.1	mg/l	<0.04	<0.02	<0.02	<0.02	<0.04
砒素及びその化合物	0.1	mg/l	<0.005	<0.02	<0.02	<0.02	<0.005
水銀及びアルキル水銀 その他水銀化合物	0.005	mg/l	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
アルキル水銀化合物	0.0005	mg/l	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
ポリ塩化ビフェニル PCB	0.003	mg/l	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005	<0.0005
トリクロロエチレン	0.3	mg/l	<0.002	<0.003	<0.003	<0.003	<0.002
テトラクロロエチレン	0.1	mg/l	<0.0005	<0.0001	<0.001	<0.001	<0.0005
ジクロロメタン	0.2	mg/l	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
四塩化炭素	0.02	mg/l	0.0002	0.0002	0.0002	0.0002	<0.0002
1,2-ジクロロエタン	0.04	mg/l	0.0004	0.0004	0.0004	0.0004	<0.0004
1,1-ジクロロエチレン	0.2	mg/l	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
シス1,2-ジクロロエチレン	0.4	mg/l	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004	<0.004
1,1,1-トリクロロエタン	3	mg/l	<0.0005	<0.03	<0.03	<0.03	<0.0005
1,1,2-トリクロロエタン	0.06	mg/l	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
1,3-ジクロロプロペン	0.02	mg/l	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002	<0.0002
1,4-ジオキサン	0.5	mg/l	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	-
チラウム	0.06	mg/l	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006	<0.0006
ジマジン	0.03	mg/l	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003	<0.0003
チオベンカルブ	0.2	mg/l	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002	<0.002
ベンゼン	0.1	mg/l	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001	<0.001
セレン及びその化合物	0.1	mg/l	<0.002	<0.01	<0.01	<0.01	<0.002
ほう素とその化合物	10	mg/l	<0.1	<0.1	0.06	0.07	0.4
ふっ素及びその化合物	8	mg/l	<0.2	<0.2	0.3	0.3	<0.2
窒素含有量	120	mg/l	16.9	5.9	5.8	5.5	9.8
燐含有量	16	mg/l	1.5	1	1	1.4	0.3

※ 基準は、水質汚濁防止法に基づく排出基準です。

※ - は、未調査です。

※ 1,4-ジオキサンは、平成24年度に規制物質に追加されました。

3 騒音・振動の状況

平成24年度 道路・環境騒音測定調査結果

単位：dB

路線	測定地点	区域の区分	一般地域		道路に面する地域	
			昼間	夜間	昼間	夜間
県道 鹿沼足尾線	縦山町	第2種区域	×	×	○	○
		B類型	64 (55)	59 (45)	68 (70)	64 (65)
県道 鹿沼環状線	栄町3丁目	第2種区域	×	×	×	×
		B類型	57 (55)	50 (45)	74 (70)	67 (65)

※ () 内の数字は環境基準値

4 ダイオキシン類の状況

平成24年度 ダイオキシン調査結果

水質

地下水 調査場所:鹿沼フェニックス

項目	放流水	地下水
調査日	平成25年1月10日	平成25年1月10日
調査地点	1か所	1か所
測定結果	0.000018pg - TEQ/ℓ	0.036pg - TEQ/ℓ
環境基準	10pg - TEQ/ℓ	≤1pg - TEQ/ℓ

河川 調査場所:黒川(楡木橋下)

項目	河川水	河川底質
調査日	平成25年3月7日	平成25年3月7日
調査地点	1か所	1か所
測定結果	0.2pg-TEQ/ℓ	0.21pg-TEQ/g
環境基準	1pg-TEQ/ℓ	150pg-TEQ/g(乾燥重量)

大気

調査場所:市役所・西大芦コミュニティセンター

調査日	平成25年3月7日～14日
調査地点	2か所
測定結果	0.034～0.058pg-TEQ/m ³
環境基準	0.6pg-TEQ/m ³

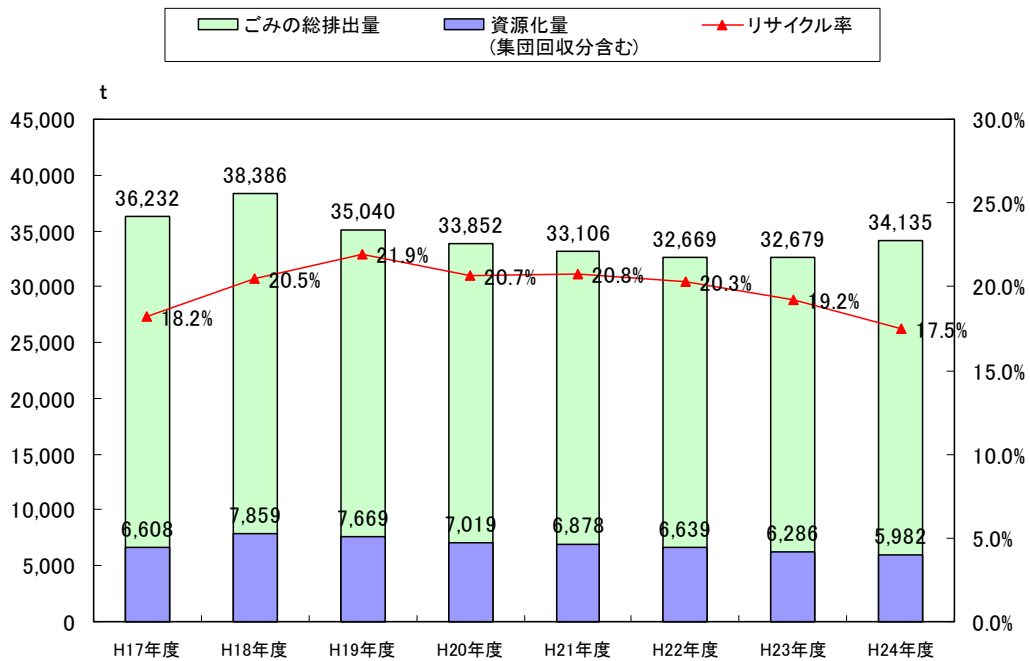
土壌

調査場所:石川小学校

測定日	平成25年3月7日
調査地点	1か所
測定結果	0.15 pg-TEQ/g (乾燥重量)
環境基準	1,000 pg-TEQ/g

5 ごみの総排出量とリサイクル率の推移

区 分	H17年度	H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	H23年度	H24年度
ごみの総排出量	36,232	38,386	35,040	33,852	33,106	32,669	32,679	34,135
資源化量 (集団回収分含む)	6,608	7,859	7,669	7,019	6,878	6,639	6,286	5,982
リサイクル率	18.2%	20.5%	21.9%	20.7%	20.8%	20.3%	19.2%	17.5%



6 動植物の生息状況

確認種類数及び注目すべき種の確認種類数

区 分	確 認 数	注 目 す べ き 種	栃木県内の確認種数	鹿沼市で確認された割合
植 物	166科 2,164種	63科 188種	3,151種	68.70%
哺乳類	7目 17科 39種	5目 9科 17種	7目 18科 53種	73.60%
鳥 類	16目 46科 175種	13目 27科 52種	18目 61科 293種	59.70%
両生類	2目 6科 15種	2目 5科 11種	2目 6科 18種	83.30%
爬虫類	2目 7科 14種	2目 5科 12種	2目 8科 15種	93.30%
昆虫類	19目 356科 3,442種	11目 63科 108種	10,133種	34.00%
魚 類	8目 14科 37種	8目 10科 13種	11目 17科 55種	67.30%

平成22年度実施 第3次鹿沼市環境基本計画等策定基礎調査結果報告書より

環境都市宣言

わたしたちは、鹿沼市のきれいな水と緑に恵まれて、豊かな心を育ててきました。

しかし、便利な暮らしを求めるために限りある資源を使い、こころない人が不法投棄をするなど、わたしたちの自然はおびやかされています。

21世紀になって、わたしたち鹿沼市民は、環境の保全について基本的な考え方をみんなでもとめあげ、きれいなまちづくりを進めているところです。

わたしたちは、共に生きる自然を守りながら、地球の恵みを未来に引き継ぐことを誓い、ここに鹿沼市を「環境都市」とすることを宣言します。

平成16年1月1日

「かぬまの環境」 第3次鹿沼市環境基本計画 平成24年度実績報告書

平成25年9月 発行

編集・発行 鹿沼市 環境部 環境課 総務係

〒322-0045 鹿沼市上殿町695-7

TEL 0289-64-3194

FAX 0289-65-5766

E-mail kankyo@city.kanuma.lg.jp